

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	計
矢 掛	2	1	1	1	0	4	1	1	0	11
理大附	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

矢 笠行、森上 一 小池、渡邊大樹、真砂

文責：松森 李紀（普通科探究コース3年）

矢掛高校の先発は、1年生右腕の笠行（小北中）。

- 1回表、矢掛高校の攻撃。先頭の赤木（小北中）が左前打を放ち出塁。次打者の大山拓海（小北中）がバントヒットで続く。続く打者の小川（真備中）が野選となり、初回から無死満塁のチャンスを迎える。続く三澤（真備東中）が押し出しの四球を選び1点を先制する。さらにチャンスは続き、佐藤武蔵（木之子中）の打球が失策となる間に2点目を奪う。その後、後続が倒れるが、2点を先制する幸先の良いスタートとなる。
- 1回裏、理大附属高校の攻撃。今日が高校初先発の笠行は、先頭打者に痛烈な左越二塁打を放たれるが、持ち味の制球力が光り、後続を抑えこの回無失点。
- 2回表、矢掛高校の攻撃。二死から大山が内野安打で出塁し、連続盗塁を決め3塁へ。小川が四球と盗塁で二死二・三塁とする。続く三澤が左前打を放ち1点を加えるが、小川は本塁でタッチアウトとなり1点を追加し、この回を終える。
- 3回表 矢掛高校の攻撃。先頭の佐藤孝太が四球で出塁し、盗塁を決める。一死から小池（総社西中）が中前打を放ち、1点を追加する。続く田付（真備東中）の犠打で二死二塁とするが、後続が凡退する。
- 4回表、矢掛高校の攻撃。先頭の赤木が四球により出塁しさらに盗塁を決める。続く大山も野選で出塁する。ここで、重盗を二・三塁とする。小川はこの日3個目の四球を選び無死満塁のチャンスを迎える。一死から佐藤孝太が押し出し四球を選び1点追加。後続は凡退し、1点の追加に終わる。
- 5回裏、理大付属附高校の攻撃。ここまで13連続アウトを奪っていた笠行だったが、一死から死球を与えて、久々の走者を背負う。次打者の打球が失策となり、一死一・二塁のピンチを迎えるが、小池が盗塁を刺し、ピンチを脱する。
- 6回表、矢掛高校の攻撃。先頭の大山が四球を選び出塁し、連続盗塁で三塁へ。二死から佐藤孝太が内野安打を放ち、1点を追加。続く佐藤武蔵の死球で、二死一・二塁となり小池の中越二塁打で2点を追加する。さらに、続く田付も中越二塁打を放ち、1点追加。この回一挙に4点を追加する。
- 7回表、矢掛高校の攻撃。途中出場の渡邊大樹（矢掛中）が中前打を放ち出塁する。ここで代走：山部（小北中）を送る。山部は盗塁を決め、続く大山は四球で出塁。4回裏より守備から出場している木尾（美星中）の打球が失策を誘い、無死満塁とする。ここで三澤の犠飛で1点を追加する。
- 7回裏、理大付属高校の攻撃。ここで矢掛高校投手の変更。森上（総社西中）がマウンドへ。森上の安定したピッチングが光り、三者凡退に抑える。
- 8回表、矢掛高校の攻撃。先頭の森上が四球で出塁。さらに暴投により二塁へ進むが無得点。
- 9回表、矢掛高校の攻撃。二死から三澤が四球で出塁するも、後続が続かない。
- 9回裏、理大付属高校の攻撃。最後の打者から三振を奪い、試合終了。

矢掛高校は11-0で理大付属高校に勝利した。今回の試合では、守備面ではほとんどミスがなく安定していた。また、打撃面も、安打が多く、それを点に繋げることもできていた。今回は試合後半で一年生を中心とした守備に変わり、彼らが自分のプレーと向き合うことができる試合だったと思う。試合中の雰囲気も良く、それを保つこともできていたが、一年生はまだまだ澁刺としたプレーができると感じた。試合をするうえで声掛けはやはり大事だと思うので、一年生にはまずそこから頑張ってもらいたい。二、三年生も気を緩めず、刻一刻と迫る夏の大会

に向けて、これからの練習に励んでいって欲しい。

今シーズンの勝敗

2 7 勝 7 敗 4 分